

Nº 13

Model House Report

Builder /
小山木材

Note /
Like a hotel
モデルハウス
長野市松代

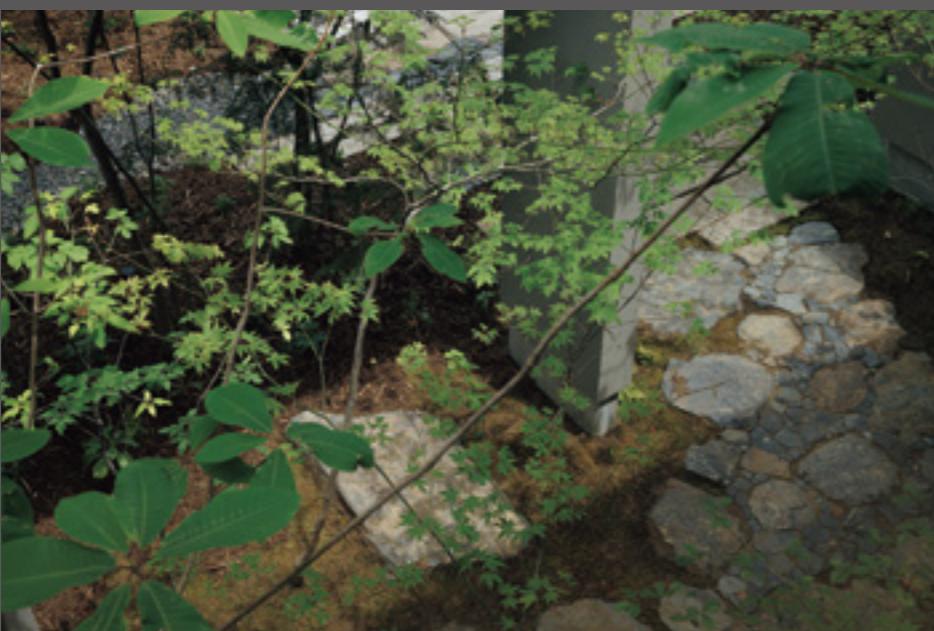
光と陰を慈しむ暮らし

体のリズムが太陽や照明の光と連動するように、
光と影のバランスは、
快適な暮らしに欠くことのできない要素です。
本当の心地良さは明るさだけでなく、
陰影にも宿るということを伝える住まいです。



Dining & Kitchen

一枚の絵画のように庭を切り取るワイドな開口が、視線を
奥へと導く。左官材で仕上げた幾何学的な造形の天井
と壁に、トップライトからの光が描く陰影が美しい。



Garden

左官材仕上げの外壁は、季節で姿を変える樹木や草花のシルエットを映し出すキャンバスに。しっとりとしたアプローチや坪庭も、目を楽しませる。

Living

「囲まれる心地良さ」を教える静謐なリビングは、明るいダイニングとは異なり、こもるような安心感を得られる居場所。トップライトと庭に面した窓からの柔らかな光が、時間の移ろいを伝える。



光をデザインすることは、
陰と影を意識すること。
対極の存在が住まいを豊かに

住まいにおいて、光と陰が心
と体にどのように作用するか。
その答えを教えてくれるのが、
長野・松代を拠点とする工務店、
小山木材のプロジェクト“Like a hotel”
のモデルハウスです。

「静謐さを纏う庭園邸宅」をコンセプトに掲げるプロジェクト構
想を体現したこのモデルハウス。
その空間が表現するのは、非日
常感がほどよく同居した上質な
空気です。

設計は、静謐な空間づくりに
定評のある建築家の深山知子さ
んが手がけ、さらに造園家や家
具職人といった各分野のプロフェ
ッショナルを迎えて、小山木材の
高い施工技術によって完成しま
した。

深山さんは、人が本能的に感
じる心地よさを建築に落とし込
むことを重視しています。その
一つが「光への意識」です。
たとえば人は暗い所よりも明

る方へ視線を向ける習性があ
ることから、玄関はあえて光を
絞り、正面に続くダイニングに

は南向きの大きな窓を設けてい
ます。こうすることで視線が先
へと抜け、空間がより伸びやか
に感じられるのです。

また一日の始まりを告げる朝
の光を大切に考え、キッチンには東向きのトップライトを設計
しました。採光はもちろんのこと
と、「光が上から注ぐことで自
然と顔が上に向く。すると毎朝、
前向きな気持ちになれるでしょ
う?」と深山さん。光が人の心
に大きく作用することを実感させ
る言葉です。

明るいダイニングと対照的にリ
ビングは光を絞り、傾斜する天
井とトップライトからの光で落
ち着ける空間としました。私た
ちの祖先が洞窟で暮らし始めた
ことからも分かるように、人は
壁や天井で囲まれることで本能
的に安心できるものです。壁に
囲まれた造作ベンチに腰かけ、
明るい庭を眺めるひと時が安ら
ぎを生み出します。

光と陰影のバランスを整える
ことで、非日常的な空気をまと

いながら誰もが心地いいと思え
るホテルのような住まいを実現
するー。



Facade

伸びやかに枝葉を広げる高木が、シンプルでモダンな外観に美しい
影を落とす。夕暮れに照明を灯せば、家路につく人を温かく迎える。

Access Map



KOYAMA® MOKUZAI Like a hotel
PRODUCED BY KOYAMA MOKUZAI

小山木材株式会社

〒381-1231 長野市松代町松代155 TEL 026-278-2216

